

カワニナ特集

(祝詞川のカワニナ)

ホタルの幼虫と共存する生物

1、分類

カワニナは軟体動物の巻貝の仲間でオスメス異体（オスとメスの比率はほぼ同じ）卵は母親のお腹の中で孵化し貝殻が出来るまで成長します。カワニナの仲間は日本では18種類棲んでいます。

2、生態

- ①生息場所、主に河川や農業水路に棲んでいる
農薬や合成洗剤などの毒性のある水が流れていない所、水温は30℃を超えないこと、溶存酸素量（DO）が多いこと増水した時に隠れ場所のあるところ。（小石～岩～石）
- ②夏季の晴れた日には、太陽高度が低くなる午後3時頃活発に行動する。夜間中心に活発に動き回り、冬場水温が10℃以下になると活動しなくなる。雑食性で巻貝だけが持っている、歯舌という道具を使って石の上にはえている藻類を少しずつ金のような歯がまたその外側には先割れスプーンのかみぎを伸ばしたようなうすい歯がついています。この歯を上下に動かしてエサを食べる。春から秋にかけて生み出した仔貝は1年以内に成熟する、年間の産仔数は800個～2000個、寿命は6年位です。カワニナは水中にフンなど出すため水の入れ替えや浄化装置がないと弱って死にます、Phが6.5～8.0に保つとよい、（水槽で飼育する場合）エサに注意今までは野菜類など使われてきましたが、野菜類は水分と繊維質がほとんどでタンパク質等の栄養素がふくまれないので仔貝を生みません、高タンパクでカルシウム、ビタミン類が含まれているものが、

※放流用のカワニナは地元産のものを与える。

※遠くのカワニナを使用すると、遺伝的な混乱が起きてしまいます。

※鯉は放流しないでください、カワニナをたくさん食べてしまいます。

祝詞川ではエサを1年半前から

魚粉	カルシウム
米ヌカ	ビタミン類
薄力粉（メリケン粉）	タンパク質
EM菌（模索中）	私は非常に良いと思われています。

※カワニナはきれい好き、雑排水の無い年間を通して流るる清水小石や砂がさらさらした水路を好む、ホタルを生かす事によって川を生かす、川を生かす事によって人が生きられる。



横輪（伊勢市）のホタルの皆様のブログより

大紀町のホタルを守る会場視察2011年6月1日

5月31日に祝詞川の源氏ホタルの生息地（ホタルを守る会）
会長の野呂さんに案内していただく
数多くのカワニナが産卵していたのにびっくりしました。

（横輪町の皆様の書き込みをそのままにうつしたものです。）

今祝詞川のホタルは三重県下はもちろん全国にも広がりつつあります
これは皆様愛好会一人一人の努力でなしえたものです。
ホタルの灯を消さないようになお一層の努力と頑張りを
お願いします。

※ 駕籠に乗る人・・・地方からホタル祭りを見に来てくれる人
乗せる人・・・滝原地区又は協賛者の暖かい心
その又駕籠を作る人・・・私達ホタルイベントを行う愛好会の
メンバー

楽しく来年に向けてガンバロー

私は何時も心にこの気持ちを忘れずに微力ながら皆様と一緒に
参加しています。祝詞川にホタルがいなくならないように
頑張ります、どうか宜しくお願い致します。

物思えば沢のホタルもわが身より
あくがれいづる魂かとぞ見る

（後拾遺集1164 和泉 式部）

祝詞川ホタル情報
記 野呂 保之